

QND ClientLog 動作環境

OS		エディション	サービスパック/バージョン	ClientLog サーバー	ClientLog コンソール	クライアント
Windows (x86)	7	Professional Enterprise	SP1			●
	8.1	Pro Enterprise				●
	10	Pro Enterprise	1709 1803 1809 1903 1909 2004 20H2 21H1 21H2 22H2 2015(LTSB) 2016(LTSB) 2019(LTSC) 2021(LTSC)			●
	Server 2008 ※1	Standard Enterprise	SP2			●
Windows (x64)	7	Professional Enterprise	SP1			●
	8.1	Pro Enterprise				●
	10	Pro Enterprise	1709 1803 1809 1903 1909 2004 20H2 21H1 21H2 22H2 2015(LTSB) 2016(LTSB) 2019(LTSC) 2021(LTSC)		●	●
	11 ※3	Pro Enterprise	21H2 22H2 23H2 24H2 25H2 2024(LTSC)		●	●
	Server 2008 ※1	Standard Enterprise	SP2			●
	Server 2008 R2 ※1	Standard Enterprise	SP1			●
	Server 2012 ※1	Essentials Standard		●	●	●
	Server 2012 R2 ※1	Essentials Standard		●	●	●
	Server 2016 ※1	Essentials Standard		●	●	●
	Server 2019 ※1	Essentials Standard		●	●	●
	Server 2022 ※1※2	Essentials Standard		●	●	●
	Server 2025 ※1※2※3	Essentials Standard		●	●	●
macOS	macOS	10.12～11				●
備考	【●】：対応「空欄」：非対応 ※1 Server Coreインストールで利用している場合は、動作保証対象外です。 ※2 クライアント自動バージョンアップ機能にて、Windows Server 2022/2025 が Windows Server 2019として認識されます。 ※3 Dev Drive(開発ドライブ)は未サポートです。このドライブではファイル操作ログや外部デバイス書き込みログなどが取得されません。 ・日本語・簡体中国語・英語OSに対応しています。 ・各OSについては、最新のサービスパックを適用することを推奨します。 万が一、旧サービスパックにて動作上の問題が発生した場合は、最新サービスパックの適用をお願いします。 ・サーバーOSでの光学メディア書き出しログの取得は、動作対象外です。 ■ Windows 【制限事項】 ・ファイル操作の上書き保存アラートログが取れずアラート通知されません。(CT0710) ・ARMプロセッサ搭載の端末は動作保証外です。 ■ Windows 10 Ver.1903以降 【注意事項】 ・Windows Sandbox内にインストールした場合は動作保証外です *1 Ver.2.6.10でも同様 *2 QCL Ver.2.6.9では以下の事象が発生します ・260文字以上のフォルダパス上でファイル操作をすると、QCLクライアントが異常終了する ■ Windows 10 Ver.21H2 ・QCLクライアントのアンインストールした場合、イベントログにエラーが記録されることがある ■ Windows 11 Ver.21H2以降 【制限事項】 ・Power Automate Desktopでファイル操作時に、操作ログが取得できないことがある ・Power Automate Desktopの「ドキュメント印刷」でファイルを印刷する場合、プリンターログが取得されない ・Windows11の新機能であるスナップ レイアウト機能とスナップ グループ機能が、QCLコンソールでは使用できない ・Windows11の新機能であるコントラストテーマを利用している場合、QCLコンソールのスナップショットビューアでスナップショットが表示されない ・QCLクライアントのアンインストールした場合、イベントログにエラーが記録されることがある ■ Windows 11 Ver.22H2以降 【制限事項】 ・「Windowsセキュリティ」で「スマート アプリ コントロール」をオフにする必要があります。 ・Power automateを使用して印刷時の印刷ログのドキュメント名の先頭に「＊」が付与される。 ・Dev Drive(開発ドライブ)は未サポートです。このドライブではファイル操作ログや外部デバイス書き込みログなどが取得されません。 ■ Windows 11 Ver.25H2 【制限事項】 ・Microsoft Edge用のブラウザプラグインにてMicrosoft ストアから入手したブラウザプラグインが有効の状態でプラグイン手動インストールツールからブラウザプラグインを追加すると追加直後にプラグイン停止アラートが検知されます。(CT0705) ・「Copilot+ PC」端末において「クリックで実行」でテキストを強調表示して「Webで検索する」を選択した場合、同じWebアクセスログが複数取得されます。(CT0706) ・「Copilot+ PC」端末において「クリックで実行」で画像を強調表示して「bingで画像検索」を選択した場合、同じWebアクセスログが複数取得されます。(CT0706) ・「Copilot+ PC」端末において「クリックで実行」でいくつかのアクションを動作した場合、同じプロセス起動ログが複数取得されます。(CT0707) ・「Copilot+ PC」端末において「クリックで実行」で画像を名前つけて保存した場合、同じ新規作成ファイル操作ログが複数取得されます。(CT0708) ・「Copilot+ PC」端末においてAIアクション「ペイントで背景を削除」を実施すると新規作成ログのほか、上書き保存のログも取得されます。(CT0711) ■ Mac 【制限事項】 ・画像収録設定(*)でQND ClientLogクライアントを許可する必要があります。 (*)画像収録で許可する手順 1.端末上で任意の操作ログアラートを発生させる 2.OS標準の「システム環境設定」アプリの「セキュリティとプライバシー」-「画像収録」からQND ClientLogクライアントを許可する ・macOS 11 / 12では一部のログが正しく取得できない、ログイン時にエラーが記録される等、正常に動作しません。					

QND ClientLog 必要メモリ・ディスク容量

	管理対象PC：200クライアントまで			管理対象PC：500クライアントまで		
	CPU	メモリ	ディスク	CPU	メモリ	ディスク
ClientLogサーバー	2コア 1GHz以上	1GB以上	※1	2コア 2GHz以上 (推奨 2.8GHz)	2GB以上	※1
ClientLogコンソール	2コア 1GHz以上	1GB以上	100MB以上の空き容量 ※ 2	左記と同じ		
クライアント (Windows)	2コア 1GHz以上	1GB以上	100MB以上の空き容量 ※ 2	左記と同じ		
クライアント (MacOS)	Intelプロセッサ	2BG以上	100MB以上の空き容量 ※ 2	左記と同じ		
	管理対象PC：1000クライアントまで			管理対象PC：3000クライアントまで		
	CPU	メモリ	ディスク	CPU	メモリ	ディスク
ClientLogサーバー	2コア 2GHz以上（推奨 3.4GHz）	8GB以上	※1 ※ 3	4コア 3.4GHz以上	8GB以上	※1 ※ 4
ClientLogコンソール	2コア 1GHz以上	1GB以上	100MB以上の空き容量 ※ 2	左記と同じ		
クライアント (Windows)	2コア 1GHz以上	1GB以上	100MB以上の空き容量 ※ 2	左記と同じ		
クライアント (MacOS)	Intelプロセッサ	2GB以上	100MB以上の空き容量 ※ 2	左記と同じ		
備考	※ 1 ネットワークの規模や操作ログの取得ポリシーによって異なります。 ※ 2 500MB以上を推奨します。 ※ 3 ClientLogサーバーのデータフォルダは、10,000rpm以上の高速にアクセス可能なディスク上のフォルダを使用してください。 ※ 4 ClientLogサーバーのデータフォルダは、15,000rpm以上の高速にアクセス可能なディスク上のフォルダを使用してください。 </					